

社会資本総合整備計画 社会資本整備総合交付金

令和03年02月01日

計画の名称	神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり(その3)												
計画の期間	令和02年度 ~ 令和06年度 (5年間)								重点配分対象の該当	○			
交付対象	神戸市												
計画の目標	1.神戸市の市街地で、市街地再開発事業および土地区画整理事業による交通結節機能を含めた生活利便性の向上や災害に強い市街地の形成により、安全・安心のまちづくりを目指す。 また、居住環境の向上及び都市基盤整備を図るとともに、地域の活性化を目指す。 2.鈴蘭台駅北地区土地区画整理事業区域内で、道路整備を行うことにより、生活利便性の向上や災害に強い市街地を形成する。												
全体事業費(百万円)	合計(A+B+C+D)	10,187	A	10,187	B	0	C	0	D	0	効果促進事業費の割合C/(A+B+C+D)	0	%

番号	計画的成果目標(定量的指標)	定量的指標の現況値及び目標値		
		定量的指標の定義及び算定式		
		当初現況値	中間目標値	最終目標値
		1(R2当初),2(R3当初)	1(R3末),2(R4末)	1(R6末),2(R8末)
1	新長田駅南地区市街地再開発事業区域内での昼間人口を増加させることにより、にぎわいのある街づくりを目指す。 事業施行地区内における従業者・通学者数を経済センサス等により調査し震災前の9割程度の水準まで回復させる。 (指標のR2当初はH28経済センサス活動調査による)	3271人	3700人	4400人
2	鈴蘭台駅北地区土地区画整理事業区域内で、宅地の利用増進を図ることで、地区内の居住人口を増やす。 地区内の居住人口を増やす。	302人	302人	620人

備考等	個別施設計画を含む	-	国土強靱化を含む	-	定住自立圏を含む	-	連携中枢都市圏を含む	-	流域水循環計画を含む	-	地域再生計画を含む	-	避難確保計画の策定	避難行動要支援者名簿の提供
-----	-----------	---	----------	---	----------	---	------------	---	------------	---	-----------	---	-----------	---------------

A 基幹事業

基幹事業(大)	番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	種別1	種別2	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市区町村名/ 港湾・地区名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	費用 便益比	個別施設計画 策定状況	
												R02	R03	R04	R05	R06				
一体的に実施することにより期待される効果																				
備考																				
市街地整備事業	A13-001	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	新長田駅南地区市街地再 開発事業	市街地再開発 A=19.9ha	神戸市						8,525	1.72	-	
	A13-002	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	鈴蘭台駅北地区都市再生 事業計画案作成事業	都市再生区画整理 A=7.5ha	神戸市						34		-	
	A13-003	市街地	一般	神戸市	直接	神戸市	-	-	鈴蘭台駅北地区都市再生 土地区画整理事業	都市再生区画整理 A=7.5ha	神戸市						1,628	1.36	-	
											小計							10,187		
											合計							10,187		

交付金の執行状況

(単位：百万円)

	R2	R3	R4		
配分額 (a)	34.7	166.44	309.156		
計画別流用増 減額 (b)	0	0	0		
交付額 (c=a+b)	34.7	166.44	309.156		
前年度からの繰越額 (d)	0	33.464	93.451		
支払済額 (e)	1.236	106.453	157.5265		
翌年度繰越額 (f)	33.464	93.451	245.0805		
うち未契約繰越額(g)	20.896	45.956	0		
不用額 (h = c+d-e-f)	0	0	0		
未契約繰越率+不用率 (i = (g+h)/(c+d))%	48.6	23.0	0		
未契約繰越率+不用率が10%を超えている場合その理由	設計業務を進める中で、関係機関との協議・調整に不測のに数を要したため。	設計業務等を進める中で、関係機関との協議・調整に不測のに数を要したため。			

事前評価チェックシート

計画の名称： 神戸市の市街地における安全・安心のまちづくり（その3）

事 前 評 価	チェック欄
I. 目標の妥当性 都市再生基本方針との適合等 2) 上位計画等と整合性が確保されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 1) 地域の課題を踏まえてまちづくりの目標が設定されている。	○
I. 目標の妥当性 地域の課題への対応 2) まちづくりの必要性という観点から地区の位置づけが高い	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 1) 目標と指標・数値目標の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 2) 指標・数値目標と事業内容の整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 3) 目標及び事業内容と計画区域との整合性が確保されている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 4) 指標・数値目標が市民にとって分かりやすいものとなっている。	○
II. 計画の効果・効率性 目標と事業内容の整合性等 5) 地域資源の活用はハードとソフトの連携等を図る計画である。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 1) 十分な事業効果が確認されている。	○
II. 計画の効果・効率性 事業の効果 2) 事業連携等による相乗効果・波及効果が得られるものとなっている。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 1) まちづくりに向けた機運がある。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 2) 住民・民間事業者等と協力して計画を策定している。	○
III. 計画の実現可能性 地元の熱意 3) 継続的なまちづくりの展開が見込まれる。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 1) 計画の具体性など、事業の熟度が高い。	○
III. 計画の実現可能性 円滑な事業執行の環境 3) 計画について住民等との間で合意が形成されている。	○

社会資本総合整備計画（市街地整備）

参考図面

